

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	631	文化財保護保存								
総合計画	めざますまの姿	7	歴史・伝統・文化を生かした次世代に継承するまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	7-①歴史の保存と継承				担当課	文化課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	06	目	文化振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	文化財保護保存費			細事業名 (事業2)	文化財保護保存				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の団体	指定文化財の所有者				
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	—						
事業の目的	市内の文化財保護及び保存を図り、優れた歴史文化遺産を後世に伝承する。										
事業の概要	①指定文化財保存修理補助 ②無形民俗文化財保存伝承補助										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①指定文化財保存修理補助 市指定文化財古見八幡神社流鏝馬神事衣装買い替え補助、応賀寺不動明王立像保存修理、市指定史跡豊田佐吉生家宣葺き屋根修繕を行った。 ②市指定無形民俗文化財保存伝承費補助 新居町細工花火保存会、猿田彦煙火保存会、橋本大般若経お経守保存会、遠州新居手筒花火保存会、大倉戸チャンチャコチャン保存会に保存伝承費補助を行った。										
課題	補助事業に係る年次計画と予算の確保が課題。										
コスト			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	事業費 (A)	当初予算額	3,497 千円			4,172 千円			1,917 千円		
		決算(見込)額	3,777 千円			4,119 千円			千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	135 千円			161 千円			150 千円		
		一般財源	3,641 千円			3,958 千円			1,767 千円		
	人件費 (B)		4,040 千円			6,008 千円			7,584 千円		
	人工(職員数の内訳)		0.55 人			0.82 人			1.03 人		
トータルコスト (A) + (B)		7,817 千円			10,127 千円			9,501 千円			
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
	文化財補助金交付件数		件	目標	10	11	13				
				実績	11	13					
		達成度	110.0%		118.2%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	予定していた補助事業に加え緊急の保護事業についても補助を行い、文化財の保護保存に努めることができた。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性 (課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行計画の策定が必要。 ●計画的な予算執行を行うために、文化財保護保存事業に係る補助事業を把握し、毎年度見直しを行う。 	

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No. 633 大知波峠廃寺保存整備事業										
総合計画	めざすまちの姿	7	歴史・伝統・文化を生かした次世代に継承するまち				担当部	教育委員会事務局			
	基本計画【施策】	7-①歴史の保存と継承					担当課	文化課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	06	目	文化振興費
	予算事業名	基本事業(事業1)			文化財保護保存費		細事業名(事業2)		大知波峠廃寺保存整備事業		
実施主体	市		実施方法			市が直接実施・運営		対象		全市民	
事業期間	開始年度		-		終了予定年度		-				
事業の目的	国指定史跡大知波峠廃寺跡の保護・保存を進め、貴重な文化遺産を次世代に継承する。										
事業の概要	国指定史跡大知波峠廃寺跡の維持管理										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	大知波峠廃寺跡の整備事業として業者による草刈りを1回行った。（職員による草刈りは豪雨の影響による車道土砂崩れのために中止とした。）										
課題	貴重な文化財であることを周知するために、効果的な保存整備策を講じることが課題である。										

		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
コスト	事業費(A)	当初予算額	428 千円	423 千円	438 千円	
		決算(見込)額	402 千円	386 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	402 千円	386 千円	438 千円	
	人件費(B)		366 千円	1,093 千円	1,225 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.05 人	0.15 人	0.17 人	
	トータルコスト(A)+(B)		768 千円	1,479 千円	1,663 千円	
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	草刈り回数	回	目標	2	2	2
			実績	2	1	
	達成度			100.0%	50.0%	

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>地理的な問題と、特に今年度は土砂崩れによる復旧作業が長期間あったため、効果的な作業が行えなかった。</p>	
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の取組内容(課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財としての価値の高さを周知するためにも保存整備を行う必要がある。 ● 新居関跡保存整備事業が一段落する33年度以降に本格的な保存整備を目指す。 	

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No.	634 新居関跡保存整備事業									
総合計画	めざすまちの姿	7	歴史・伝統・文化を生かした次世代に継承するまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	7-①歴史の保存と継承				担当課	文化課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	06	目	文化振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	文化財保護保存費			細事業名 (事業2)	新居関跡保存整備事業				
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民					
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	平成33年度						
事業の目的	国特別史跡の新居関跡の整備を進め、江戸時代後期の新居関所の歴史的空間を再現し、後世に伝える。										
事業の概要	①新居関跡保存整備工事及び監理 ②新居関跡諸整備実施設計等作成業務										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①新居関跡保存整備工事 関所北区域の景観整備として、芝張り工事を行った。(250㎡)。 ②新居関跡復元検討資料作成業務。 建物復元について関所西側の裏御門の実施設計(委託)を行った。
課題	①保存整備に当たって、文化庁や県の各部署との調整が課題。 ②保存整備に必要な予算確保が課題。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
コスト	事業費(A)	当初予算額	149,742 千円	2,219 千円	6,232 千円	
		決算(見込)額	119,621 千円	2,027 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	66,936 千円	1,340 千円	3,649 千円	
		一般財源	52,685 千円	687 千円	2,583 千円	
	人件費(B)		3,224 千円	4,369 千円	6,125 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.44 人	0.60 人	0.83 人	
トータルコスト(A)+(B)		122,845 千円	6,396 千円	12,357 千円		
活動指標	内容	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	整備委員会開催回数	回	目標	2	1	1
		実績		1	1	
		達成度	50.0%	100.0%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 特別史跡の保存・公開活用のため保存整備工事等を実施し、江戸時代の新居関所の景観を部分的ながらも復元することができた。	
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁や県、関係機関との協議、調整を行い、計画の推進に努める。 ●最重要施策として33年度を目途に、裏御門、船会所、女改め長屋、土蔵の復元整備を進める。